

みんなで一歩

～チャレンジ・つながり～

令和8年(2026年)7月8日
豊中市立桜井谷小学校
学校だより No.6
校長 渡部 潤也

修学旅行レポート



6月30日(火)行ってきます集会を行いました。原爆の子の像の前で行うセレモニーを全校児童の前でも披露しました。素晴らしい歌声に全校児童も感動している様子でした。



1日目；広島での平和学習

7月1日(水)朝7時。運動場での出発式から、6年生の修学旅行がスタートしました。司会の子どものあいさつに元気いっぱい大きな声で返事する子どもたち。期待に胸をふくらませていました。私からは、「広島で平和への思い、核兵器廃絶への願いを肌で、命で感じてほしい」という話をし、子どもたちは真剣な表情で耳を傾けていました。

新大阪から新幹線で広島へ向かうと、現地はあいにくの大雨。広島駅から新しく整備された広電の駅を経由して原爆ドーム前へ向かいました。原爆ドームが見えてくると、「あれが原爆ドームや」と子どもたちから自然と声上がり、歴史の重みを前にした実感が伝わってきました。



平和記念公園では、レインコートを着たまま「原爆の子の像」の前でセレモニーを行いました。黙とう、平和への誓い、そして「平和の鐘」をみんなで歌い、心をひとつにして平和への思いを深めました。続いて資料館を見学し、展示物を通して戦争の悲惨さや平和の尊さを学びました。

昼食は広島名物のお好み焼き弁当。その後も雨の中、ボランティアガイドさんの案内で碑めぐりを行いました。子どもたちはガイドさんの言葉に真剣に耳を傾け、平和について深く考える時間となりました。

その後、バスで岡山の国民宿舎サンロード吉備路へ移動し、1日目を終えました。



2日目：姫路セントラルパークで思いきり遊ぶ



7月2日は曇りのち晴れ。宿舎から姫路へ向かい、姫路セントラルパークでバスに乗ったままサファリパークを見学しました。間近で見る動物たちに子どもたちは大興奮。普段の学習では味わえない迫力ある体験となりました。

午後からは隣接する遊園地へ。ほぼ貸し切り状態で、絶叫系コースターに何度も挑戦する姿が見られました。コーヒーカップでは勢いよく回しすぎて、酔ってしまいグロッキーになる子も続出。コーヒーカップには要注意です。



広島で平和について深く学び、姫路で仲間と楽しい時間を過ごした2日間。6年生にとって、心に残る修学旅行となりました。今回の経験を、これからの学校生活や自分の生き方に生かしてくれることを願っています。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

「しんちゃんの三輪車」

広島平和記念資料館に展示されている、原爆で亡くなった当時3歳の男の子・しんちゃん（てつたにしんいち君）の遺品です。しんちゃんは1945年8月6日の原爆投下時、自宅前で三輪車に乗って遊んでいたとされています。そのまま爆風と熱線を受け、全身に大やけどを負い、その日の夜に「水、水」とうめきながら命を落としました。



この三輪車は、しんちゃんの父親が「土葬してやりたい」と願い、しんちゃんと一緒に家の庭に埋めたものです。被爆から40年後の1985年、遺骨を墓所に移すために掘り起こした際、赤さびた三輪車が見つかり資料館に寄贈されました。